

## 「宇部市本庁舎建設基本計画(素案)」市民説明会【会議録】

日 時 平成 28 年 7 月 15 日 (金) 18 : 30 ~ 19 : 15  
場 所 男女共同参画センター・フォー・ユー

- 1 「うべの情報 知っちょる会」について (~18:35)
- 2 「宇部市本庁舎建設基本計画 (素案)」について (~19:00)
- 3 質疑応答 (~19:15) ※以下、要約

【市 民】 税務署と市役所本庁舎が一体となり、現在の両方を合わせた駐車可能台数(公用車分を除く?)から 100 台位増えているが、税務署で確定申告を行う時期でも十分停められるという想定か。

【市】 そのあたりも市役所と税務署が合築するメリットになると考えている。現在 300 台を予定しているが、市の駐車場部分も確定申告時に使えば、まかなえるのではないかという計算。

【市 民】 予算 108 億円が新国立競技場のようにどんどん上昇することはないか。始めの予定額 108 億円の範囲内で収まるように努力してほしい。  
市の焼却場でも、始めに市民に公表した数字から、どんどん上がった。財政状況も厳しいので、事業費が上がることをないようにしてほしい。

【市】 十分理解しているが、オリンピックや震災復興需要に対して建築単価が上がっている状況なので、その変動を見据えながら建設時期については、考えていきたいと思っている。現在の 108 億円が安いとも考えていないので、財源等も考えていきたい。

(補足説明) 108 億円というのは、先ほど説明したコストを重視した A パターンで試算したもの。今後、基本設計の中で、市民の皆さんから、「こういった機能を付けたらどうか」という意見や、「市民が交流できるスペースを作ったらどうか」という意見が出て、スペースを付加していくと建設費も高くなる。駐車場についても今は平面駐車場で考えているが、これから計算し、もう少し駐車場が必要となった場合や、市民が交流できる広場を広く確保した方がよいとなれば、駐車場が立体駐車場になるので、その分費用も高くなる。

様々な機能の考え方によっては、108 億円に収まらないケースもあるし、逆に、市民の皆さんからの意見で必要ないと言われるスペースがあれば、費用が安くなる可能性もある。

建設物価が高騰していることを踏まえ、設計段階で実際の費用を出した上で、着工時期の検討も行いながら作業を進めていきたい。

108 億円は、あくまでも最小限のコストを重視した案で試算を行った結果だということを理解していただきたい。

【市 民】 この前、倉敷市役所を訪れたが、大きな敷地の中で本館と市民活動を行う別館に分かれており、どちらかというところ、市役所機能よりも市民活動機能の方が充実している印象を受けた。また、その建物全体が大きな公園の中に入り込んでいるかたちだったので、宇部市とはちょっと違う印象を受けた。計画が決まっているので、これはあくまでも参考である。

倉敷市役所は、市民活動で色んな方が入ってきて、色んな会議室やお店が入っていたりして、交流ができていくという印象を受けた。

次に、宇部市に人をどう集めるかが重要なポイントになるのではないかと思います。市役所と、宇部市の一番大きな観光資源である常盤公園をつなぐもの、アクセスを工夫して、市役所に来た人が常盤公園に行ってくれるようなことができ

ないかと個人的には感じた。

また、建物自体の話はこれからののかもしれないが、倉敷市役所では本庁舎が非常にシンボリックな建物になっていた印象を受けたので、参考に話しておきたいと思う。

【 市 】

宇部市も「緑と花と彫刻のまち 宇部」として、新庁舎の建設に合わせて、西側にある真締川公園と一体利用できるように検討しながら進めていきたいと考えている。また、彫刻のまちなので、彫刻の配置も基本設計・実施設計のなかで、検討していこうと考えている。